

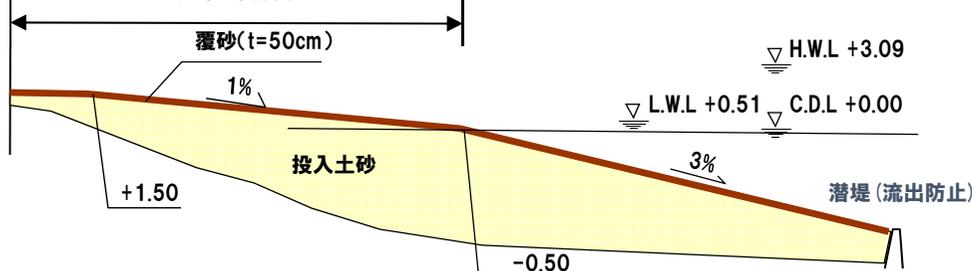
主要事例①: 徳山下松港 大島干潟

- 港湾整備事業で発生する浚渫土砂の有効活用とアサリの生育場として継続的に活用できる干潟を造成。
- 人工干潟の規模:(Ⅰ期)17.8ha、(Ⅱ期)11.5ha
- 整備期間:(Ⅰ期)平成16~23年度、(Ⅱ期)平成20~24年度、モニタリング 平成20年度~
- 整備内容:築堤、浚渫土投入、覆砂
- その他:地元関係者の要望等を踏まえⅠ期を先行して概成し、平成20年度よりアサリの成育場としての現地試験・維持管理方策の検討を行い、平成24年度に人工干潟の維持管理マニュアル及び、アサリ漁場としての活用ガイドラインを作成。

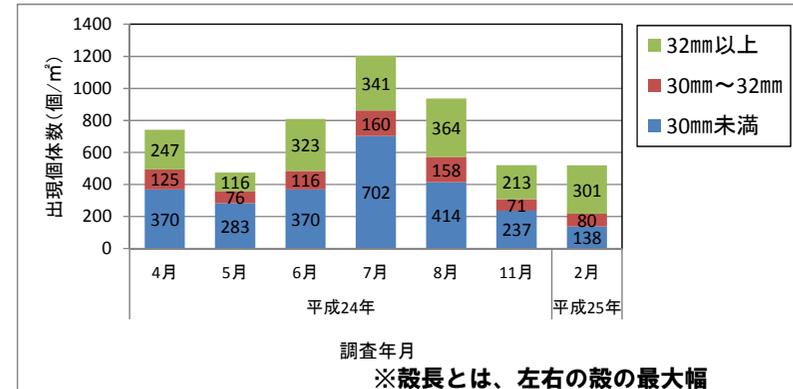


干潟断面図

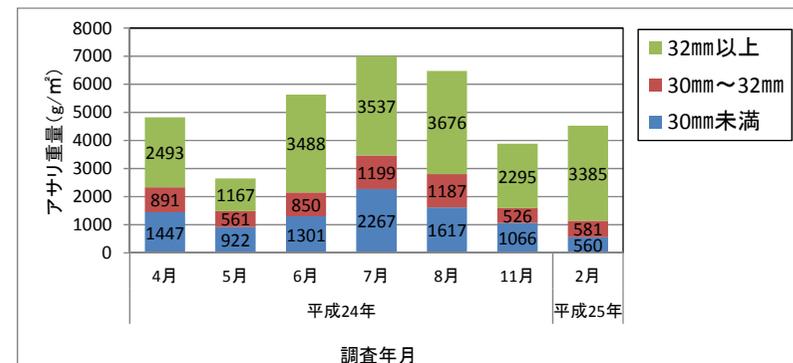
干潟地盤高はアサリの主生息範囲
D.L -0.5m以浅を確保出来るような配慮



■アサリ漁場としてのモニタリング結果



アサリの出現状況(殻長別重量の変化)



アサリの出現状況(殻長別個体数の変化)